

第341回  
日本泌尿器科学会新潟地方会  
《プログラム》

日時:平成19年3月10日(土)午後3時00分  
会場:イタリア軒 3階『サンマルコ』  
新潟市西堀通7 025-224-5111

次回 第342回新潟地方会予告  
期日:平成19年6月9日(土)  
会場:NASPA ニューオータニ(新潟県湯沢町)  
演題申込期限:平成19年4月上旬

※ PC発表のみです。

※ 口演時間は、1題7分。討論3分

951-8510 新潟市旭町通1の757  
新潟大学医学部泌尿器科学教室内  
日本泌尿器科学会新潟地方会  
TEL:025(227)2289/FAX:025(227)0784  
会長 高橋公太

15:00-16:20

座長 車田茂徳

### 1. 新潟大学医歯学総合病院泌尿器科における平成18年手術統計

新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野

水澤隆樹、信下智広、武田啓介、高橋公太

平成18年の新潟大学医歯学総合病院泌尿器科における手術総数は469件で、前年とほぼ同じ件数であった。手術内訳としてもほぼ前年と同様であったが、腎細胞癌や前立腺癌に対する腹腔鏡下手術の件数については増加傾向を認めた。

### 2. 新潟市民病院における平成18年の手術統計

新潟市民病院泌尿器科 筒井寿基、川上芳明、大澤哲雄

延べ562名(男性481名、女性81名)の患者に対し、延べ584件の手術、検査が行われた。ESWL以外の手術等は447件で、その内訳を臓器別にみると、腎43件、尿管15件、膀胱114件、尿道14件、前立腺206件、陰茎9件、陰囊および陰囊内容34件、副腎その他が12件であった。件数別では、前立腺針生検が182件と最多で、以下、ESWL137件、TUR-Bt80件、TUR-P、腎尿管悪性腫瘍手術が上位を占めた。

### 3. がんセンター新潟病院の2006年度

がんセンター新潟病院 泌尿器科

若月俊二、小松原秀一、北村康男、斎藤俊弘、

当院における患者数は右肩上がりであり、特にハイリスク症例が増加している。当科における2006年の手術統計を発表する。

### 4. 当科の2006年の手術統計

厚生連刈羽郡総合病院 泌尿器科 羽入修吾、石崎文雄

手術は延べ423件で昨年よりも10%増えた。男女比10:1。50~80代男性が多かった。臓器別で前立腺が46%を占めた。術者は研修医が72%で研修を重視していた。根治的腎摘6、腎尿管全摘5、膀胱全摘4、前立腺摘除7と大きな手術も22件あった。鏡視下手術は6件。件数ベスト5はTRUS針生検108、TURP72、ESWL51、TURBT30、TUL17で、この5つで66%を占めた。

### 5. 一人医長10年2ヶ月間の手術統計

新潟県済生会三条病院 郷 秀人

平成8年7月より平成18年9月までの10年2ヶ月の間に手術室にて1,957件の手術を、また体外衝撃波結石破碎術を1,567件(初回1,184件)施行した。手術室にて施行した手術のうち開放性手術が621件、内視鏡下手術が1,336件と内視鏡下手術が68.3%を占めていた。そのうち腹腔鏡下手術が145件、経尿道的前立腺レーザー核出術が162件あり、これが当院の特徴である。

## 6. 前立腺生検前 MRI における拡散強調画像(ADC map)の有用性

県立中央病院 山名一寿、宮島憲生、片桐明善

前立腺生検前の MRI 検査は、正確な病期診断や病変検出部位への target biopsy を追加できるなど有用であると位置づけられている。特に dynamic contrast-enhanced magnetic resonance imaging (DCE-MRI) は、辺縁域の病変を早期濃染することでコントラストよく病出し、その有用性を高めた。また近年、拡散強調画像から算出される ADC (apparent diffusion coefficient) map が DCE-MRI では難しいとされる内腺域の病変検出に有用との報告がされている。そこで、ADC map を routine 撮影に導入後の画像診断精度と生検結果について比較検討した。

対象は 2005 年 5 月より 2006 年 8 月までの間に、検診で PSA 上昇を指摘された MRI 撮像者のうち経直腸的生検にて病理学的診断を行った 87 例である。中でもテクニカルバイアスを除くため、一人の術者が生検を施行した 59 例につき詳細検討した。

結果は sensitivity、specificity、accuracy それぞれで 93.8%、79.2%、88.1%と良好な結果が得られた。特に PSA10 未満のいわゆる gray zone における生検陽性率は一般的に 30%前後と言われているが、今回の検討では MRI で癌所見なしと診断された gray zone 17 症例のうち偽陰性は 1 例のみであった。このことから生検前 MRI により、不必要な観血的検査を回避しうる可能性が示唆された。

## 7. トルテロジンからソリフェナシンへの変更が有効であった女性 OAB wet の

1例:OABSS による評価

新潟市民病院泌尿器科 筒井寿基

症例は 70 歳、非神経因性 OAB wet の女性。初診時の OABSS は 10 点、残尿量 10ml であり、トルテロジン 4mg を開始した。2週後の OABSS は 6 点に減少したが、8週後には 10 点に戻った。患者が不満を訴え、この時点でソリフェナシン 5mg に変更した。変更後 4 週間で尿意切迫感と切迫性尿失禁は消失したが、頻尿改善の希望があり、6週目に 10mg に増量した。増量 4 週後には昼間排尿回数は 8 回に減少し、患者の満足が得られた。残尿量に変化はなく、OABSS は 3 点で安定している。

## 8. 当院で施行した最近 5 年間の根治的前立腺全摘除術後の病理学的所見と術

前 PSA 値との関連性について

済生会下関総合病院 占部裕巳・毛利 淳・高井公雄・上領頼啓

2002 年より当院にて施行した根治的前立腺全摘除術後の計 120 例(内訳は 02 年 12 例, 03 年 26 例, 04 年 27 例, 05 年 24 例, 06 年 31 例)に対し、病理学的所見と術前 PSA との関連性について検討した。また、当院では T3 以上のハイリスク前立腺癌に対しては、adjuvant endocrine + radiation therapy を施行している。術後の PSA 値の経過など、全症例に関し詳しく検討した結果を報告し、若干の文献を交えたいと思う。

【16:20-16:40 日本泌尿器科学会新潟地方会総会】

[ 休 憩 16:40-17:00 ]

お 知 ら せ

日本泌尿器科学会専門医・指導医に必要な新潟地方会参加証は、地方会当日受付に用意しておりますので、必要な先生は受付に申し出て下さい。

# サテライトセミナー

日 時:平成19年3月10日(土)

17時00分～18時00分

会 場:イタリア軒 3階『サンマルコ』

17時00分～17時10分

〈製品紹介〉

DVD:「クラビットの殺菌効果を探る」

第一製薬株式会社

17時10分～18時00分

〈特別講演〉

座 長 新潟大学大学院 腎泌尿器病態学分野 教授 高橋 公太先生

「薬剤耐性菌はこうして出現する -尿路性器感染症の場合-」

岐阜大学大学院医学研究科 病態制御学講座

泌尿器科学分野 教授 出口 隆 先生

共催 日本泌尿器科学会新潟地方会

第一製薬株式会社

※ サテライトセミナー終了後、5階 春日の間にて懇親会を行います。